

【沿革】

2021年4月時点

2010(平成 22)年 4 月	建築生産委員会 IT 推進部会の傘下に「BIM 専門部会」を設置した。設置当初の目的は「業界標準化を推進することで、施工段階での BIM 活用のメリットの増大を図る」ことだった。
2012(平成 24)年 5 月	『 専門工事会社における BIM 活用実態調査報告書 2011 年版 』を発行。建築業界で初めて実施した専門工事会社の BIM 実態調査の結果を報告した
2014(平成 26)年 11 月	『 施工 BIM のスタイル 施工段階における元請と専門工事会社の連携手引 2014 』を発行。日本で初めて施工段階の BIM を「施工 BIM」と定義し、「BIM モデル合意」のように BIM モデルを活用する手法を提唱した。
2016(平成 28)年 7 月	『 施工 BIM のスタイル 事例集 2016 』を発行。冊子に掲載した事例を紹介する「施工 BIM 事例発表会 2016」を同年 10 月に開催した。
2017(平成 29)年 7 月	『 施工図の LOD と BIM 施工図への展開 』を公開。「施工図に最適な LOD」についての考え方を具体的な図版と共に分かり易く解説した。
2017(平成 29)年 11 月	『 施工 BIM のすすめ 成功につながる施工 BIM スタートアップガイド 2017 』を発行。これから BIM を始める企業などを対象とした施工 BIM の裾野を広げることを目的とした冊子である。
2018(平成 30)年 7 月	『 施工 BIM のスタイル 事例集 2018 』を発行。冊子に掲載した事例を紹介する「施工 BIM 事例発表会 2018」を同年 7 月に開催した。
2021(令和 3)年 3 月	『 施工 BIM のスタイル 施工段階における BIM のワークフローに関する手引き 2020 』を発行。多様化した施工 BIM を 7 種類に体系化し、それぞれの取り組み別に 15 のワークフローを掲載した。
2021(令和 3)年 4 月	「BIM 部会」に組織改変した。建築生産委員会 IT 推進部会傘下から建築生産委員会直下の組織となった。